授業科目名・形態	カウンセリング　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	石塚　章	実務経験の有無	有	開講期	２年後期
科目ナンバリング	C2-2004				

【授業の主題】

カウンセリングとは技法、関係性、構造等様々なものによって構成されています。構造や関係性について学びながら、繰り返し、質問の仕方、感情の反映等様々な技法を学び、将来の実践の中で少しでも役に立てられるようになることが目的です。知識と技術を身に着け、そこに様々な経験を重ねていってほしいと思います。

【到達目標】

1. カウンセリングの構造・技法等の知識を身に着ける
2. 聴くことの大切さを学び、実践できるようになる

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション
第 2 回　カウンセリングの技法
第 3 回　カウンセリングの技法
第 4 回　カウンセリングの構造と技法
第 5 回　年齢に応じたカウンセリング
第 6 回　年齢に応じたカウンセリング
第 7 回　リフレーミング
第 8 回　カウンセリングの技法とリフレーミング
第 9 回　解決志向アプローチ
第 10 回　様々なメンタルヘルスとカウンセリング
第 11 回　アンケートを活用したカウンセリング
第 12 回　ワークシートを活用したカウンセリング
第 13 回　ワークシートを活用したカウンセリング
第 14 回　集団へのカウンセリング
第 15 回　集団へのカウンセリング

※講義の進み具合で内容が変更となることがあります

【授業実施方法】

講義も行いますが、個人ワーク、ペアワーク、小人数でのワーク等の演習も多くあります。
また、毎回、授業の最後に時間をとり出席シートにて感想や質問を記入し、提出していただきます。

【事前・事後学習】

講義内容を踏まえ、事前学習および復習を毎回 2 時間以上行うこと。

【主な関連する科目】　心理学、臨床心理学

【教科書等】　教科書は使用しません。

【参考文献】　講義のレジュメに記載します。

【成績評価方法】　レポート 30%、受講態度 70%とし、総合的に評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

小中学校、高校でのスクールカウンセラー、被災地でのカウンセラー、10 代～20 代の精神疾患の方達への支援、放課後等デイサービスの管理者、グループホーム・病院での認知症の方々への支援や心理検査の実施等を経験。
・カウンセリングを行ってきた経験をもとに、カウンセリングの基本的な技術、態度についての説明をし、ロールプレイの演習や振り返りに活かす。
・学校や高齢者施設での経験をもとに、様々な年齢の人達への支援の方法についての講義と演習を行い、様々なアプローチへの理解を深めていってもらう。

【学生へのメッセージ】

しっかりと知識と技術を身につけ、少しでも将来の仕事の役に立てればと思います。積極的な演習への参加を期待します。